

# リンドウ栽培における遮光処理による高温対策

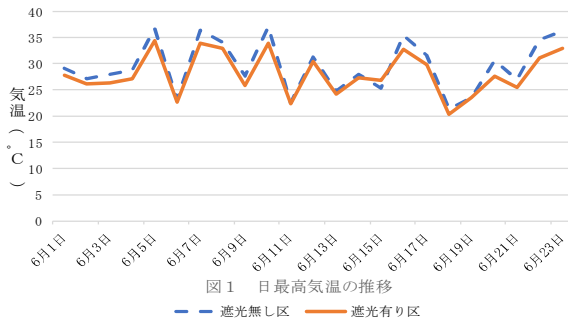
遮光を行うと平均最高気温は1.5℃、日最高気温は最大3℃低下し、開花日や切り花長、収穫本数に影響を与えず、高温による葉やけ症状の発生株は少ない。

## 背景・目的

- リンドウは、平成27年に宮崎県に導入され、中山間地を中心に栽培が行われていますが、本県の環境に適した栽培技術が確立していないため、現地では高温による葉焼けや開花遅延等の高温障害が発生しています。
- そこで、県内育種家と連携し、県先行販売に向けた有望系統の特性調査を行いました。

## 成果の内容

- 遮光有り区は、遮光無し区に比べ平均最高気温が1.5℃低く、日最高気温は最大3℃程度低く推移します（図1）。
- 遮光の有無による開花日や切り花長、収穫本数は有意な差はなく、花段数は、「しなの早生」と「しなの2号」では、遮光有り区に比べ遮光無し区が多く、「しなの早生」では差はありません（表2）。
- 高温による葉焼け症状は、「しなの早生」と「パステルベル早生」では、遮光無し区よりも遮光有り区で発生株率が小さく、「しなの2号」は、いずれの区も葉焼け症状は見られません（表2）。



(写真)：リンドウ

表1 遮光資材の有無が開花日及び収穫本数、切り花品質に及ぼす影響

早晩生	品種名	試験区	開花日	切り花長	花段数	収穫本数
早生	しなの早生	無処理区	7月11日 ± 0 <sup>z</sup>	118.2 ± 1.0	7.7 ± 0.0	10.2 ± 0.0
		被覆区	7月12日 ± 0	118.9 ± 3.1	5.7 ± 0.2	10.3 ± 0.03
早生	パステルベル早生	無処理区	7月9日 ± 1	109.3 ± 1.3	6.7 ± 0.5	7.5 ± 0.4
		被覆区	7月9日 ± 0	112.0 ± 2.2	6.7 ± 0.3	8.0 ± 0.6
中生	しなの2号	無処理区	7月24日 ± 1	109.3 ± 1.3	6.7 ± 0.5	7.5 ± 0.4
		被覆区	7月25日 ± 2	138.9 ± 3.0	5.9 ± 0.2	9.1 ± 0.2
	y	遮光資材	n. s.	n. s.	*	n. s.
	有意差	品種	n. s.	*	*	*
		遮光資材×品種	n. s.	n. s.	*	n. s.

<sup>z</sup> 平均値±標準誤差 (n=3)

<sup>y</sup> 二元配置分散分析により、\*は5%水準では有意差あり、n. s.は有意差無し

## 成果の活用方法(又は期待される効果)

- 試験は白色30%遮光資材を用いているため、異なる遮光資材を使用する場合は注意してください。なお、遮光時期や曇雨天時の解放については導入地域の気候を考慮して行うこと。
- 普及対象地域・戸数 中山間地域 5戸

## 留意点

- 試験は白色30%遮光資材を用いているため、異なる遮光資材を使用する場合は留意。なお、遮光時期や曇雨天時の解放については導入地域の気候を考慮して行うこと。

関連研究成果カード：2022度前期 番号12

関連事業名：中山間地における種苗安定供給を含めた野菜花きの産地育成・拡大技術確立事業(県単)

研究期間：2020年度